

「通勤ライナー」の実証運行

～快適な通勤環境を創出し

「マイカー」から「バス」への利用転換を目指して～



通勤ライナー到着時の様子(県庁北口)

①「マイカー通勤」の現状

沖縄県では自動車保有台数が年々増加し、マイカーが主な移動手段となり、バスをはじめとする公共交通の利用率が低く、特に朝夕の通勤時間帯を中心に、慢性的な交通渋滞が発生しています。また、マイカー利用はバスの約2.5倍の二酸化炭素を排出するため[※]、地球温暖化対策の観点からも公共交通利用促進が急務となっています。

このような現状を改善するため、沖縄総合事務局では通勤急行バス「通勤ライナー」の実証運行を、令和3年1月18日から29日まで(平日のみ)行いました。

※環境・運輸部門における二酸化炭素排出量「2.輸送量当たりの二酸化炭素の排出量」、国土交通省

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

②実証運行の内容について

今回の実証運行においては、「うるまルート」「具志川バスターミナル～県庁北口」「南城ルート」(南城市役所～県庁北口)及び「糸満ルート」(糸満バスターミナル～県庁北口)の3つのルートにおいて、それぞれのルートで朝2便、夕刻2便ずつ運行しました。運賃は無料で、ゆったり座ることのできる貸切バスを用意しました。車内では無料のWi-Fi、モバイルバッテリーを設置。自由にパソコンやスマートフォンが使用できるようにするなど、より快適に通勤をすることができるよう環境を整えました。また、マイカーから「通勤ライナー」に乗換(パーク&バスライド)ができるよう、駐車場を準備したほか、車内で渋滞状況に応じた到着予定時刻の随時情報提供を実施し、「うるまルート」及び



運行ルート



モバイルバッテリー

「糸満ルート」においては、モノレールの駅と接続し、渋滞状況に応じて、モノレールへの乗り換えが選択できるようにしました。ご利用いただきました方には、アンケートへご協力をいただき、「無料Wi-Fiの上に、各駅停車では無いので運行もスムーズ」、「マイカー通勤のように駐車場を探す必要がないので楽だった」などのご意見をいただいているところです。

お問合せ先

運輸部 企画室

☎098-866-11812